

KSKR

パンジー だより

ク リ エ イ ブ ハ ウ ス
パ ン ジ ー No.58



絵：肌勢俊一

特集

知的障害を持つ人たちのエンパワメント

11月5～6日新潟で第12回ピープルファースト全国大会が開催された。それに先立ち11月3日に「地域移行・本人支援・地域生活支援東京国際フォーラム」が行われ、かえる会が「当事者のエンパワメント」分科会を担当した。フォーラムとピープルファースト大会には海外ゲストとしてスウェーデンのグルンデン協会、オランダのLFBから当事者と支援者が来日した。当事者活動の先駆的実践が紹介され、熱い交流が行われた。（この報告は次号）

一方、矛盾だらけの「自立支援法」が強行成立した。障害者の地域生活は今後どうなっていくのか…。この展望はまさに当事者のエンパワメントにかかっていると言えるのではないだろうか。スウェーデンやオランダの当事者達は国やシステムの違いはあれ、当事者が支援者を雇用し、様々な失敗から学びながら自分の望む生活を実現し、社会に対して権利主張を続けている。日本のピープルファースト運動もアメリカやヨーロッパの当事者運動から多くの衝撃を受け、育成会運動とは分岐した当事者運動を10年以上展開してきた。

「自立支援法」で何がどう変わるのか、依然不透明である。しかし、国際的にも、日本においても知的障害を持つ当事者達がパワフルな成長を続けていることは明白だ。その力がどのような形で制度・政策に結実していくのか、それは障害者運動だけではなくあらゆる市民運動の抱えている課題ではないだろうか。今はただ、当事者が親・行政・施設職員・支援者の思惑を越えた「本当の想い」を主張し続けられ、必ずそれは実現するのだということを感じたい。

さて、今号では「コミュニケーションの難しい人たちのワークショップ」も特集する。生駒で行ってきたワークショップから6年ぶりだ。ここでは自閉症や重い障害を持つ人たちが経験を重ね成長してきた姿、それを支え共に成長しようとしてきた取り組みを紹介したい。石神先生・中新井先生と親、支援者の懇親会では、悪戦苦闘してきた親の苦労をみんなが辛いながら、成長してきた当事者の姿を確認した。そして今なお続く「困難な状況」を焦らず、楽しく乗り越えていくひとつの活力になったのではないだろうか。

遙か遠くの目標をめざすのではなく、一歩一歩進んできた今を大切に、わくわくしながら次のステップをさあ踏みだしましょう！



コミュニケーションの 難しい人たちの ワークショップ



2005年9月14日
15日に神戸しあわせの
村で、ワークショップ

を開催しました。この
ワークショップは、パ
ンジーが始まって3年
目の1996

年から3年間、
毎年開催して
きたものです。
いわゆる自閉
的傾向のある
人や、コミュ
ニケーション
の難しい人達
の経験を増や
すこと、支援
者が関わりに
ついて学ぶこ
とを目的にし
ていました。

本紙でもおなじみの
中新井先生にスーパ
バイザーで参加してい
ただき、より深いつき
あいをする中で、コミュ
ニケーションの取り方
を学んだり、相手のこ
とを知ることのできる
大切な場でした。保護者
の方は夕方からの参加
で、当事者と支援者の
様子を見た後で懇談会
に参加し、家とは違う
様子に話しがもりあが
りました。今回は、人
に対して緊張の強い当
事者が、初めて関わる
支援者に身体をゆだね

2000年の夏から、
毎年一度はパンジーを
訪問して、本人さん、
家族、担当職員のご相
談に応じ、そのあと職
員さんとのミーティン
グで情報を交換するの
を楽しみにしてきました。
その上で必要があれば、
遠く高槻の診療所に来
ていただいたりもして
います。2004年度
からは、創思苑との嘱
託契約を結ぶことになり、
その繋がりがいっそう
強まりました。今までは、
休日を使って、個人的
に行っていました。今
回は、出張という形で
行かせてもらっています。

「嘱託医を引き受けた
のだから、もう少し何
かお役に立てないか」
と思っていたところに、
ワークショップ参加の
お誘いを受け、「宿泊は
無理ですが」と初め
ての参加となりました。

神戸の「しあわせの村」
を見たいというのも動
機のひとつでした。
9月14日の夕食前に
着くと、早速、お母さ
んたちに誘われて、日
本庭園散策などと、思
いもかけないロマンチッ
クなスタートとなりま
した。宿泊棟を見せて
いただいたあと、みな
さんと合流しての夕食
会になりましたが、参
加者の人達が、それぞ
れに、こだわりなどを
持ちながら、それでも
介助の方たちと、楽しく
美味しそうに食べてお
られるのを見て、何故
かすっきり感動してし
まいました。

夜の話し合いは、圧
巻でした。何れも人後
におちないツワモノど
もを、ここまで育て上
げてきた親御さん達の
明るさというか、胆の
すわり具合。これは、個々

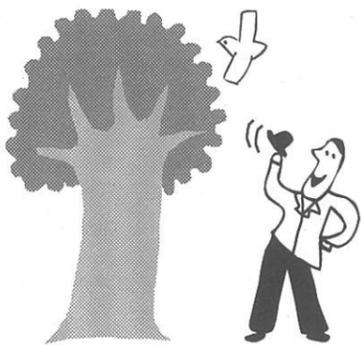
社会福祉法人大阪府
衛生会附属診療所

石神 亘
(嘱託医)

ワークショップ²⁰⁰⁵に参加して



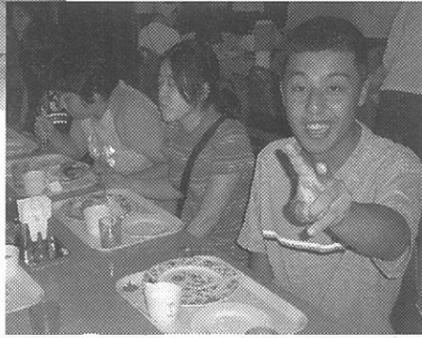
のお母さんたちの人間
的な魅力に裏打ちされた、
わが子への思い、親仲
間の連帯感。それに加
えて、親子を支え、見
守って来た人たちの力
があったればこそのも
のだと感じました。私は、
迂闊にも「来年も元気
だったら参加します。」
と宣言してしまいました。
このような場に参加
することは、医者をはじ
め、専門職を目指す者
にとって、貴重な経験
になると確信します。
有難うございました。
そして今後もよろしく
お願いします。





てプールで楽しんでい
る様子や、体を動かす
のが苦手な当事者がア
スレチックで急な山を支
援者と協力して登って
いくのを見て、私は感
動しました。パンジーが
授産活動や外出活動、
ショートステイ等の中
で当事者が経験を積む
支援を大切にしてきた
結果だと思いました。

また、参加した支援者
の多くはパンジーに関
わって1、2年の経験
の浅い人たちでした。
当事者と関わることの
喜びや、難しさ、そし
て関わる側の責任を再



確認したことと思います。
短い時間でしたが、パー
ベキューを終わる頃
は関係性の「元」がで
きていくように見え、
よいワークショップに
なったと感じました。
(見館)

ワークショップに
参加して

職員の立場から



私はパンジーで働くよ
うになって、2年半に
なりますが、当事者と
関わる中で戸惑うことや
これでもいいのかと悩む
ことがあります。今回
初めてのワークショップ
参加で、当事者より
私のほうがドキドキし
ていたかもしれません。
ワークショップでは、
当事者と職員が1対1
でじっくり付き合いま
した。その中で、Nさん
がすべり台を好きだっ
たり、Jさんがお風呂
好きだったり、Yさん
がアスレチックを好き
だったり：。普段のパ
ンジーでは見られない
姿を見ることができま
した。他の職員が当事
者への情報提供を工夫
しているものなるほど
など思いました。例えば、
携帯電話で写真を撮っ

て見せていたり、メモ
に時間を書いて渡して
いたり。口で言うだけ
でなく、目からの情報
を伝えると、当事者の
人たちにはより分か
りやすいようでした。
団体行動をする中で
の関わりも勉強になり
ました。当事者と支援
者がグループから離れ
た時、職員が「みんな
と一緒に行動できるよ
うにしましょう」と声
を掛けました。好き
ことをするだけでなく、
他の人のペースに合わ
せて行動することも必
要だと受け止めました。
団体で行動できるよう
になることは、視野が
広がり、社会生活をす
る上でのルールが守れ
るようになったりと、
今後の生活の中で大事

ワークショップに
参加して

保護者の立場より

三村明美

な事だと思いました。
支援者は当事者のペ
ースに合わせて動くだ
けではなく、いろんな
視点を持って関わらな
いといけないことを実
感することができました。
(田中)

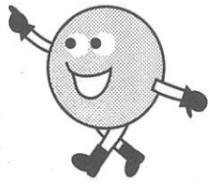
ワークショップの意
味もわからず石神先生
と中新井さんのお話が
聞きたくて参加しまし
た。息子の伸雄がパン
ジーに通所するようにな
りました。この間には
いろいろなことがあり、
ご迷惑をかけたことが
、回りの人々の配慮で
今日に至っています。常
に手探りの状態で、1
日の無事を願う毎日
です。伸雄の将来が
不安でした。ただ漠然
と伸雄が30歳になるま



でにグループホームで
自立できたらいいなあ
と思っていました。
石神先生が「母子分
離について、当事者が
親に求めることと他人
に求めることは違う。親
・家族以外の人の支援を
得て生活していくこと
が当事者の自信にも
なっていく」と話され
ました。私は伸雄が自
立するには、私のかか
わりが必要だと思っ
ていました。無理だと思
いながら他人にもそれ
を求めていました。石神
先生の話を聞いて反省
しました。「もっと伸
雄を信頼しなければ」「伸
雄を認めてやらなけれ
ば」と。
他のお母さんの悩み
にも共感しました。有
意義なひとときでした。
また機会があれば参加
したいです。

たい かい

ベスト大会



がた
鶏

きました!

自立支援法とたたかっていこう!
5日~6日

in 新潟に行ってきました。

からは45名が参加しました。

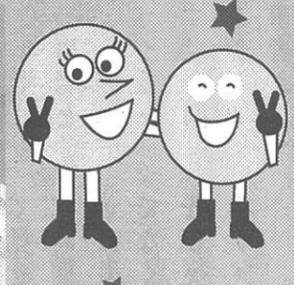
オーストラリアの当事者と支援者が参加しました。

【分科会】

- ・災害で困ったときはみんなで助けあおうと思った。ケイタイを持ってないと災害でこまるから持っておこうと思った。
- ・分科会を聞いて、恋愛、結婚はむずかしいと思った。でもしたいと思った。幸せそうだった。
- ・グループホームの分科会で、介護者のイヤなことを発言した。
- ・「元気のでる話」を新潟でやった。うまくいってよかった。

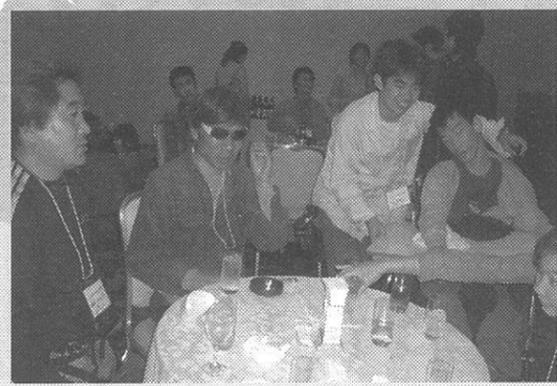
【交流会】

- ・交流会の料理がおいしかった。
- ・名刺を10枚も交換できた!いろいろな人と話ができよかった。
- ・もりあがった。太鼓がお腹にひびいて迫力があつた。名刺交換であくしゅができてうれしかった。



外国人のひとと、せっしよくして写した写真です。外国人のひととしゃべりたかったけどことばがわからない。福祉会館での外人さんの話はわかりづらいいけど、よこに通訳がついているからだいじょうぶ。

外国人の人が来て質問とかをしました。かたことのことばでぼくらの顔はきんちようしました。外国のもう一人は背が高い人でした。



夜は交流会です。好きな食べ物がたくさんあって、日本人も外国人も楽しいひとときを過ごしました。食べ物がいっぱいならんでいて、とれなくなっていました。



たくさんの方が来て本を売ろうと思ったけど、あんがいと売れたりしました。マドガラスいっぱい人が集まっていました。

グループホーム 介護者募集!

当事者の生活を支援する人を募集します。男性スタッフ大歓迎です。

時給1000円~/宿直手当・交通費支給
詳しくは、パンジーII 0729-60-3610
までお電話下さい!

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

大阪ゼロックス株式会社

総合給食サービス
ナニワフード

ナニワフード株式会社
〒544-0015
大阪市生野区巽南5丁目4番26号
TEL.06-6791-8962 FAX.06-6791-876

【全体会】

- 外国の人と休み時間にタバコをすっている話
ができてよかった。
- 厚生労働省の大塚さんの話で、自立支援法が決ま
っているのに、大塚さんに、なんでおこったり、
どなったりしているのかわからなかった。
- 厚生労働省の話を書いて、まだまだ当事者のこと
がわかってないと思った。
- スウェーデンの当事者マーリンさんが、お母さん
が病気で自分を育てられず、里親に育てられたと
いう話をきいて涙がでそうになった。

ピープルファースト

新

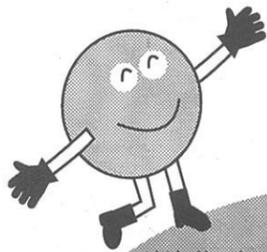
に行ってきた

みんなと力を合わせて差別、虐待、

2005年11月

第12回ピープルファースト大会
全国から約674名が参加し、パン

今年の大회는、スウェーデン・オランダ・オー

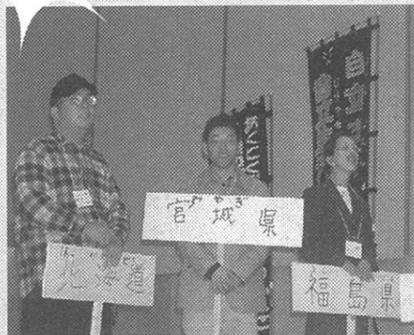


肌勢俊一の

新潟大会エッセイ



新潟で、みんなで、おおぜいの中であつまって、おしゃべりばかりしました。



和歌山県からも東京からも北海道からも奈良県からも全国からきていました。



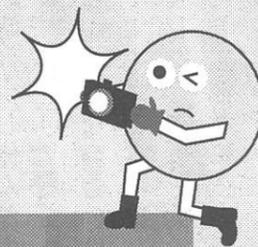
分科会をしました。みんなでわをくんで、いろんな人が自分のいけんをゆうていました。



中多さんは分科会の際に「私は今結婚をしています」。だれかときいてると、「生田さんといっしょになっています。生田さんはやさしい人で、とても私の話をわかってくれます」。せやけど中多さんはおこるとこわい人です。

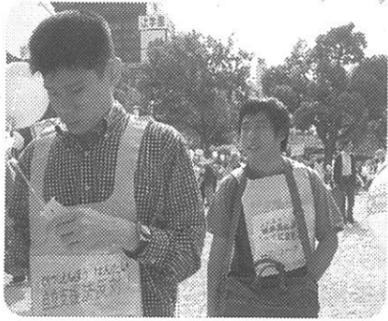


福田さんが分科会の際に梅原くんとしゃべっています。



ひとりひとり違う名刺をこうかんして、「どこからきましたか」と聞いて夜にはみんなと交流会をしました。たくさんの方が集まってにぎやかだった。

これじゃ 「自立でけへん！」



「障害者自立支援法」に
反対する!

大阪の障害者3000人
が
御堂筋を大パレード



パンジーに来るようになってもう10年近くになる。その間、創思苑の日中活動の場が拡大するとともに、私も多くの当事者と出逢ってきた。今秋より、デイサービス事業の場（これが元銭湯の脱衣場で、まだ番台なんかも残っていてオモシロイ）にも、参加することになった。2回目に出かけた時、なんと私のことを「れいこさん」と呼んで迎えてくれたメンバーがいた。60数年生きてきて、友人知人は多い方だと思いが、「れいこさん」と

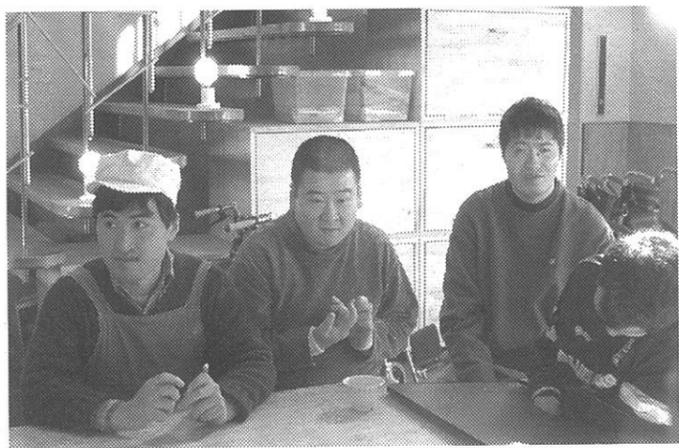
人に対する安心感

パンジー・スーパードライザー
中新井 滯子

呼ぶ人はあまりいないので、とっても新鮮でうれしかった。パンジー（パンジーII）では、ほとんどが「なかあらいさん」。自閉症のQさんは、私の顔をみるとニコニコして「ナカアライ」と唱える。中には大声で「おばちゃん!」（おばあちゃん）でなくて「おばあちゃん」と呼ぶこともあった。フレンドリーな人もいて、スタッフは恐縮しているが、私は結構楽しんでる。今回登場するRさんは、メンバーの中では数少ない「なかあらいさんせい」と呼ぶ女性である。

先日、久々にRさんのお母さんが相談に来られた。数年前、彼女が不安定になって親子関係がこじれた時に話をして以来だ。「あの時に比べたら大した問題ではないのだが」と前置きしながら、家でRさんとなごやかに会話している時、突然機嫌が悪くなったり、急に怒り出したりする。親にだけならいいのだが、彼女のことをよく知らないヘルパーやメンバーさんともそんなことがあると、嫌われるのではと心配しておら

なつたので、大きな問題行動は見られない。彼女知らない物の名前や抽象的な言葉を私が使った時、「そんなワタシの知らんこと言わん」とそれまでのこやかな表情が一変する。肥満傾向のメンバーが水泳プログラムに参加しないのは間違っていると批判するので、「水泳活動はダイエットのためだけではないしね」と言った途端に急に不安がり、「そんなこと言われたら、ワタシどうしたらよいか分からなくなる。ワタシはダイエットによいとされたからやっているのに」と泣きそうな顔をする。確かに感情の起伏に戸惑うことはあるが、私の言葉にRさん自身も動揺していることもよく理解できて、今ではお互いの安心感につながっている。彼女に最初にあった時から、私のことを「せんせい」と呼んだのは、何らかの意味を持っていたのかもしれない。親や、「せんせい」は頼りになる反面、のみこまれてしまう怖れを持った存在である。



「メラビアン」の法則」をご存じだろうか。その法則によるとコミュニケーションにおける相手へのインパクトの度合いは、表情やしぐさが55%、声の調子が38%

● 気になるエッセイ ●

言葉に依存しないコミュニケーション

社会福祉法人創思苑
理事長 林 淑美

で、言葉の意味は7%に過ぎないそうだ。この法則を識った時、「やっぱり人間は言葉ではないのだ!」と思いつつも、なかなか実感できずにいた。それが、この秋、「人間は言葉ではない」ということを経験する場面があった。

1つは、「コミュニケーションの困難な人のワークショップ」での事である。このワークショップは、主に自閉的傾向のある人が経験を増やし自信を持つこと、経験

の少ない支援者が良い関わりができることを目標としている。最初は、パンジーができて数年しか経っておらず、当事者も支援者も経験が少なかった。そのため、ワークショップ会場に

事前に訪れるなど、緊張せずに参加できる工夫をした。それでも、一人で参加できず、親子で参加する人もいた。今年、何年かぶりに再開をした。そして、先輩達がとても頼もしくなっているのを発見した。1人ひとりが自分流の楽しみ方をしていくのだ。新しい人たちも、時々不安や緊張をみせながらも、落ち着いて過ごせた。それには、言葉ではないが、

先輩当事者の経験や自信に裏付けされた行動が、大きく影響していると思う。夕食後は、「背中合わせのハグ」を楽しんだ。背中をぴったりとくっつけて、呼吸を合わせる。すると、お互いの体温が伝わり、呼吸が一つになる。気持ちが良くて、いつまでもしていたかった。

「自立支援法」は通っても私たちの戦いは終わらない

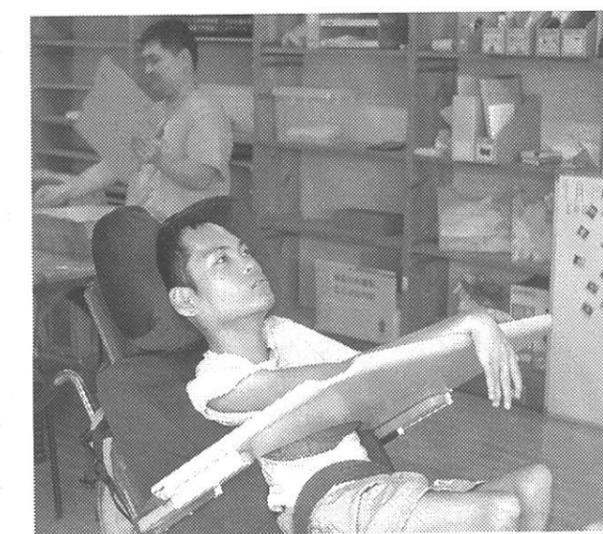
創思苑理事 楠 敏雄

もう1つは、スウェーデンとオランダの人たちとの交流会での事である。当事者と支援者の30人ほどが、飲んでしゃべって、歌った。母国語、英語、日本語が飛び交った。きつと、通訳の人など一部の人を除いて、殆どの人は内容を理解していなかっただろう。それでも、理解し合えた気がした。みんな歌った時は、共通の言語で歌っているような不思議な感覚があった。たくさんさんの元気をもらった。

すでにご承知のように、政府厚生労働省及び自民公明党の与党は、10月31日に「障害者自立支援法」を数の

力で強引に衆議院を通過させた。昨年4月に突然持ち出された障害者施策の介護保険への統合、同じく昨年10月に提出された「改革のグランドデザイン」、それに続いて今年1月に国会に提出された「障害者自立支援法」など、厚生労働省のこの間

者として支援者の30人ほどが、飲んでしゃべって、歌った。母国語、英語、日本語が飛び交った。きつと、通訳の人など一部の人を除いて、殆どの人は内容を理解していなかっただろう。それでも、理解し合えた気がした。みんな歌った時は、共通の言語で歌っているような不思議な感覚があった。たくさんさんの元気をもらった。



の一連の施策は自立と社会参加を求める私たちの期待を大きく裏切るものとなった。しかも日本の障害者運動史上かつてなかった異議申し立ての行動をむりやり押し切って強行された政策である。今回の「自立支援法体制」の下では、いままでもなく

障害者に対するサービスの量や時間単価、認定基準の決定手続き、さらには一部の例外を除いて、所得の乏しい障害者や家族でも一律に1割の「応益負担」を課することなど、どれをとっても障害者の自立を阻害する政策被害の何者でもない。たしかに法律は強引に通されてしまった。しかし、この1年半に渡る私たちの戦いは決して無駄ではな

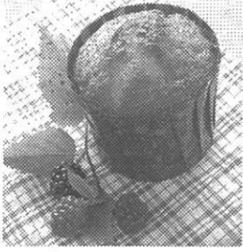
かったし、むしろ運動の盛り上がりという点では、私たちの戦いは大きく前進したと言つて良い。当面私たちは「自立支援法」を具体化させるために厚生労働省が用意している200以上ものほる政省令や施策矛盾の一つひとつを暴露追求し、それらの変更を迫るための交渉や抗議行動を粘り強く展開していく必要がある。

第二にそうした中央レベルでの行動と平行して、各市町村に対し、支援費の下で前進しかけた施策を後退させないための取り組みや、障害者の自立支援を促進する施策の実施を、それぞれの地域のネットワークを構築しながら進めていくことが重要である。

その一方で、障害者が真に地域で自立していくことができる新たな法制度を私たち自らが検討し、法案としてまとめ上げ、それを厚生労働省はもとより、各政党やマスコミのように積極的に提起し、宣伝していくことである。とりわけ「小さな政府」を掲げて福祉の切り捨てを積極的に進めてくる小泉政権に対し、幅広い人々と連携し、明確な批判勢力を作り出していく必要がある。

私たちの戦いは、これからが第二ステージである。介護保険への安易な統合に引き込まれぬよう、「Never give up!」

手作りマフィン



おすすめセット 各350円

- TEAセット
(紅茶・番茶・コーヒー)
- 和セット
(きなこ・番茶・ゴマ)

冬ギフト



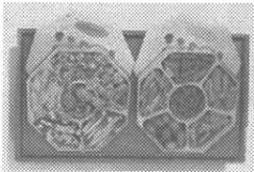
※お電話・FAXでお申し込み下さい。
宅急便でお送りする場合は送料はお客様負担になりますのでご了承下さい。

おすすめチョコ

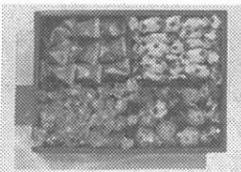


ココアミルクチョコ 楽しみま専科 小 アップルチョコ など 各500円

チョコギフト



プレジール 2000円



サラマンジェ 1500円



クウィーンズギフト 3000円

うどん詰め合わせ



釜揚げセット 1,500円

讃岐うどんを釜揚げつゆで楽しむ。
寒い冬に心温まる贈り物です。

- 讃岐うどん 半生 (300g) 3袋
- 釜揚げうどんつゆストレート (340ml) 1本



まるごと讃岐うどんセット 2,500円

本場の味をまるごと楽しめる
高級うどんセットです。

- 讃岐うどん 半生 (300g) 5袋
- 釜揚げうどんつゆストレート (340ml) 1本
- 生醤油うどんつゆストレート (150ml) 1本

パウンドケーキとクッキーの詰め合わせ



ミックスクッキー
ごま・ココア・ピーナッツ・レーズンの4つの味。

パウンドケーキ
プレーン・フルーツ・紅茶の3種類があります。

ころころクッキー
たまごを使っていない、くるみたっぷりのクッキー

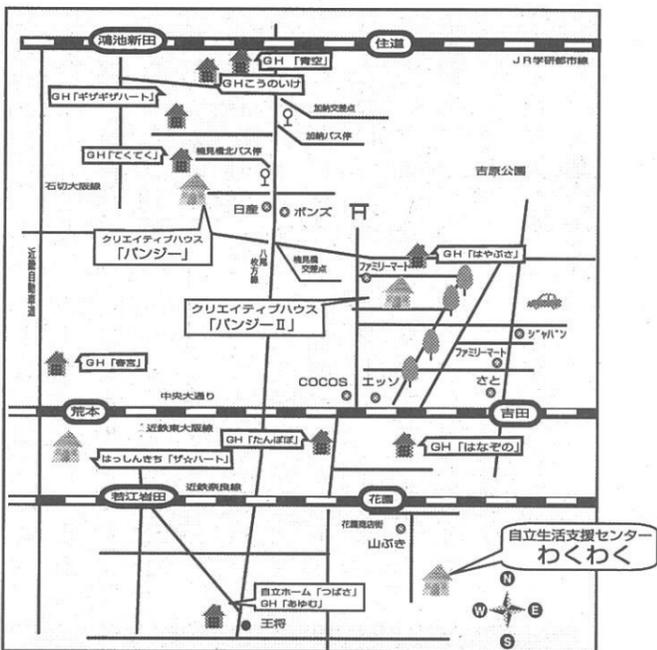
●3種類のセットから、お選びください。

- Aセット・プレーンパウンドと2種類のクッキー
- Bセット・フルーツパウンドと2種類のクッキー
- Cセット・紅茶パウンドと2種類のクッキー

各1,300円

●ご注文・お問い合わせ

クリエイティブハウスパンジー
〒578-0973 東大阪市東鴻池町2-4-8
Tel 0729-63-8837 Fax 0279-63-8825



みんなげんき No.4



書き損じハガキ、
(未使用)切手を
送ってください！

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか？自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてています。ご協力お願いします。

（敬称を略させていただきます）

ご協力ありがとうございます
（カンパを頂いた方）
金子 三郎・松野 明子
お送りいただいた方
宮田 隆志

パンジーでは、後援会員を募集しています

賛助会員	1口	1カ月	500円
本会員	1口	1カ月	1,000円
特別会員	1口	1カ月	5,000円

郵便振替番号 00950-1-300551
クリエイティブハウス「パンジー」

お問い合わせ

- クリエイティブハウス「パンジー」
東大阪市東鴻池町2丁目4-8
Tel 0729-63-8818 Fax 0729-63-8825
- クリエイティブハウス「パンジーII」
東大阪市中新開2-11-20
Tel 0729-60-3610 Fax 0729-60-3613
- 自立生活支援センター「わくわく」
東大阪市花園東町1丁目17-30
Tel 0729-68-1556 Fax 0729-68-1557
- はっしんきち ザ☆ハート
東大阪市荒本2049-4-101
Tel 06-6789-6637 Fax 06-6789-6649
- ホームページ/http://www.pansy-net.or.jp
メールアドレス/info2@pansy-net.or.jp

一九九六年五月一日 第三種郵便物認可毎日発行 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪府東区東中浜二一〇一三 緑橋グリーンハイタワー1階 編集人「クリエイティブハウス「パンジー」」 東大阪市東鴻池町二一四一八 頒価一〇〇円